

みの〜れとの出会いが人生の転換期

島田さんの趣味は野球をすること、小学校から中学校まで活躍していた。『大学に入ってからも友達と草野球をしていたが、なかなか時間が合わず現在は充電中です』と笑いながら話してくれたのがとても印象的で、本当に野球が好きなのが伝わってきた。また、小学生の時にマンガで描かれている徳川家康の伝記と出会い、戦国時代や幕末といった歴史にも興味を持ち始めた。それ以降、歴史の本を読みあさるようになったという。島田さんは現在、大学3年生。将来も大好きな歴史に関わっていたいという夢があり、博物館などに勤務できる学芸員の資格が取れる大学に入学した。

幅広い世代がつどう場所。「みの〜れ」

さわやかな秋空の下、秋桜の花や真っ白なそばの花が私たちの目を楽しませてくれる。爽やかな秋、読書やスポーツを通して楽しい事を見つけてみませんか？今回は「光と風のステージCue」や「みの〜れデベロップスクール」に新しい風を吹きこんだ花野井地区にお住まいの島田直樹さんを取材する。



「みの〜れに関わるようになり、幅広い世代の方々とお話ができてとても嬉しい」と語る島田さん。

光と風のステージCue
プロジェクトメンバー

みの〜れデベロップスクール
TEAM-D.S.メンバー

島田直樹さん

みの〜れと共に生活するスタイル

Minole Life

のすすめ

No.52

みの〜れとの出会いはそんな大学時代。大学に通いながらアルバイトをしている島田さんは、アルバイト先でみの〜れ自主事業「光と風のステージCue」のメンバーと出会った。仲良くなるうちに「光と風のステージCue」プロジェクトに誘われ、みの〜れに足を運ぶようになった。『最初みの〜れはただ単に演劇やコンサートを開催しているだけのところかと思っていました。でも、実際に関わってみると違いました。地域と連携したり住民が積極的にみの〜れの運営に関わったりしている。みの〜れはとても身近な存在なんだなと感じました』と島田さんは話す。

『光と風のステージCueは2ヶ月に1回のペースで風のホールでコンサートを開いています。しかも1ドリンク付きでお酒もOK。定員90名で鑑賞できる、ゆったりとした空間を生み出しています。プロジェクトメンバーはアーティスト探しといった企画の段階から当日の運営まで担っています。が、勉強などでなかなか忙しくて参加できないのが現状です。けれども、みの〜れに関わるようになって人生が大きく変わったと思います。幅広い年代の方々とお話しする機会も増え、光と風のメンバーの方たちからも若い人が加わってくれて良かった！と喜んでくれるので私も嬉しいですよ』と話す。現在は「みの〜れデベロップスクール」にも加入し、更なる交流を深めている最中だという。島田さんのいきいきとした表情から、彼の将来の夢、学芸員になっていく姿が容易に想像できた。

(藤田 佐知子)